

## 平成27年度産学連携事業「大学教員の企業現場研修」の開催結果

### 平成27年度 第1回 「株式会社内田洋行」

1. 研修テーマ：**情報の価値化と知の協創を目指す人材育成の取組を学ぶ研修**
2. 研修目的：情報技術の発達によりビジネスのスタイルは刻々と変化しています。世の中にあふれる大量の情報を「知識」として活用し、新たな価値を生み出す仕組みをデザインすることが必要不可欠です。「情報の価値化と知の協創をデザインするカスタマーズファーストコーポレーション」を目指した人材育成の考え方や仕組みについて紹介します。また、若手社員、管理職を交えた意見交換の中で大学教育に求められる人材育成の取組等について課題を整理します
3. 研修企業：株式会社内田洋行、株式会社ウチダ人材開発センタ
4. 開催時期：平成28年2月23日（火）1日間
5. 参加者数：29名
6. 参加費：無料

#### プログラム

10:30	<b>会社概要と事業領域の紹介</b> 株式会社内田洋行の会社概要・事業等について紹介します。
10:50	<b>UCHIDA ライブオフィス見学</b> 働き方と働く場の革新『Change Working』を自ら実践し、生産性が高く躍動的なワークスタイル実現と省エネルギーの両立に挑戦しているライブオフィスや時代の要請に応じて柔軟に変化できる空間やICTを活用した空間を見学します。また、高等教育機関におけるアクティブ・ラーニングスペースの豊富な事例紹介や最新の技術、デザイン、コンテンツを基に内田洋行が作り上げたフューチャークラスルーム®を見学・体験します。
12:00	昼食
13:00	<b>採用基準と社員教育プログラム等の紹介</b> 内田洋行の採用基準と社員教育プログラムを通じて、「情報の価値化と知の協創をデザインする企業」を目指して取り組んでいる人材育成の考え方や仕組みを紹介するとともに意見交換を行います。
14:10	休憩
14:30	<b>デザイン業務の紹介</b> デザイン+情報デザイン+経営資源+物語（ストーリー）で「学ぶ場」「働く場」「集う場」をグランドデザインする業務について豊富な事例を交えて紹介するとともに担当者との意見交換を行います。
15:40	休憩
15:50	<b>ICTに携わるシステムエンジニアと営業業務の紹介</b> 一般企業や文教市場のシステムエンジニア及び営業若手社員からの業務の内容、必要なスキル、ICT企業の最新の課題や実態を紹介するとともに管理職から求められる人材像やスキルについての考えなどを紹介します。その後担当者との意見交換を行います。
17:00	終了

#### 7. 実施結果

受講者の評価は高く、研修終了後のアンケートでは、本研修を「他の教員にも紹介したい」が82%、「授業に役立つ」が96%であった。

〔主な意見〕

- ① システムエンジニアと営業業務の紹介を受け若手社員との意見交換は参考になり、今後の授業に活かせるヒントや課題のアイデアが得られた。
- ② 営業若手社員からの業務の内容、必要なスキル、最新の課題や実態について話を聞き、管理職から求められる人材像など学生に教示する話が聞けて良かった。
- ③ 人文系の教員にこのような取り組みを通じて企業の仕組みを理解し、授業に臨むことが重要と認識した。
- ④ 今回の研修はアクティブラーニング（特にPBL）を実現するシステムを知る機会になった。
- ⑤ 人事部長から採用や求める人材の話聞き、企業実務でのプレゼンテーション力が重要視されていることに大

変刺激を受けた。授業改善に活かせるヒントを山ほど思いついた。

## 8. 研修会場の様子（研修・若手社員との意見交換風景）



### 平成27年度 第2回 「日本電気株式会社」

1. 研修テーマ：技術開発から社会での活用までを担うICT企業の現場研修
2. 研修目的：社会に貢献し、新たな価値を社会とともに創造していくためにはICTの専門知識だけではなく、幅広い知識や柔軟な考え方、コミュニケーション能力などが求められます。本研修では、社会に役立つ先端技術を開発し、その技術を用いて製品やサービスを提供している事例などについて紹介し、企業の現場ではどのような人材を必要とし、そのために必要な教育とは何かを考える機会としていただくことを目指します。また、社員教育制度の紹介や、若手社員との交流を通じて、企業の求める人材と大学に求められる教育についての意見交換を行います。
3. 研修企業：日本電気株式会社
4. 開催時期：平成28年3月1日（火）1日間
5. 募集人数：21名
6. 参加費：無料

#### プログラム

- 10:00 NECの事業概要紹介  
人がより豊かに生きるための社会価値創造をめざし、インフラで未来をささえるNECの事業概要を紹介します。
- 10:20 NECの最先端取り組み事例紹介  
安全・安心・効率・公平で豊かな社会の実現に向け、ICTを活用した高度な社会インフラを提供するNECの最新の取組について（1）ビッグデータ、（2）映像ソリューションのご紹介をします。
- 11:40-12:40（昼食休憩）
- 12:40 NECの取り組み事例紹介  
東京2020のゴールドパートナーであるNECの、東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みをご紹介します。
- 13:20 NECイノベーションワールド見学  
NECが誇る数々の世界トップレベルの技術や、NECがめざす「人と地球にやさしい情報社会」を体感できるショールームを見学して頂きます。
- 14:30 NECの社員教育制度についての紹介  
社会にイノベーションをもたらし、常に成長し続ける人材を育成する社員教育制度を紹介し、意見交換を行います。
- 15:15 若手社員との意見交換（大学での学びについて）  
社会人になってから今までの経験を通じて、大学時代にやっておけば良かったと思うこと、大学時代に役立った経験・授業はどのようなことだったのか等について発表し、意見交換を行います。
- 17:00 終了

## 7. 実施結果

受講者の評価は高く、研修終了後のアンケートでは、全員が本研修を「他の教員にも紹介したい」と回答し、この研

修は「授業に役立つ」との回答が82%であった。

〔主な意見〕

- ① 教員が企業の現場を見ることが重要であることを改めて感じた。特に若手社員の話を聞けるこのような研修の機会を今後も継続してほしい。
- ② 若手社員との意見交換で「理論だけではなく、事例や実例を活用した解説を行う授業が役に立った」と聞き、改めて授業改善に取り組んでいきたいと思った。
- ③ 学生の学ぶ姿勢をどのように引き出すかを考えさせられた。
- ④ 研修に参加し、日本企業の課題であるグローバル化、イノベーションの創出、若者や女性の活用に対する取り組みが理解できた。大学教育をどう変革すれば良いか、アクティブ・ラーニングの取り組みも含めて考えたい。

#### 8. 研修会場の様子 (研修・若手社員との意見交換風景)



### 平成27年度 第3回 「株式会社日立製作所」

1. 研修テーマ : 次世代の社会システムと最先端ICT活用事例の現場研修
2. 研修目的 : 社会が大きく変化の中で、ICTがイノベーションの核となり新しい成長分野の創造に不可欠な存在となっています。それにはICT専門分野の教育だけでは限界があり、多面的な視点から問題発見・解決する分野横断型の教育が求められています。豊かな社会を実現するために大学教育をどのように変革しなければならないのか先生方に気づきを得ていただくため、実際に社会のイノベーションにつながるプロジェクトを通じて関係者が協働して新しい価値創造に取り組んでいる事例を紹介します。その上でイノベーションに関与できる社員教育についてキャリア形成の考え方や仕組みについてご紹介させていただきます。また、数人の若手社員、管理職を交えて意見交流の中で大学教育に求められる取組等について課題を整理します。
3. 研修企業 : 株式会社日立製作所
4. 開催時期 : 平成28年3月8日(火) 1日間
5. 募集人数 : 25名
6. 参加費 : 無料

#### プログラム

- 13:00 事業領域と事業戦略の紹介/日立が求める社員教育の紹介  
日立の事業フィールド・事業・事業戦略等について紹介するとともに、日立の採用戦略、求められる人材及びダイバーシティマネジメントに関わる取り組み等を紹介いたします。
- 14:00 最先端ICT活用事例の紹介と取り組みについて (含シヨールーム見学)  
日立グループが推進する社会イノベーション事業を支えるICTを利活用した先進的な取組みと各種のソリューションを紹介いたします。

- ① **ヘルスケア**：健康的な生活支援を実現するソリューションのご紹介
- ② **行動分析**：人間の行動をデータ化して、業務向上の要因を抽出するソリューションのご紹介
- ③ **まち・インフラサービス**：センサーと通信ネットワークの活用により社会インフラ設備の状態変化の見える化を実現するソリューションのご紹介
- ④ **人工知能**：意思決定を支援する「ディベート型」人工知能のご紹介

15：00-15：10 （休憩）

15：00 **日立の考える大学 IR、CBT 等の紹介**

16：00 **意見交換**

社会人になってからこれまでの経験を通じて、大学時代にやっておけば良かったと思うこと、大学時代に役立った体験・授業はどのようなことだったのか等について発表し、意見交換を行います。

17:00 **終了**

## 7. 実施結果

受講者の評価は高く、研修終了後のアンケートでは、本研修を「他の教員にも紹介したい」が96%、「授業に役立つ」が78%であった。

〔主な意見〕

- ① 企業は価値創造、行動型の社員を求めており、そのための教育改善が必要なことが理解できた。企業現場研修は非常に有益な事業と思うので今後も是非続けて欲しい。
- ② 大学IRとディベート型の人工知能、日立社内のビッグデータ（性格分析）の結果は非常に参考になり、授業に活かせる。
- ③ 企業側、若手社員の意見いずれからも参加型、課題解決型の授業が望まれていることがよく分かった。また、若手社員との意見交換を通して、授業形態を考えるきっかけになった。

## 8. 研修会場の様子（研修・若手社員との意見交換風景）



## 平成27年度 第4回 「富士通株式会社」

- 1. 研修テーマ：イノベーションの核となる先端的ICT事例の現場研修
- 2. 研修目的：イノベーションの核となる社会システムとして欠かせない様々なICTの事例を学び、学生にICTの夢と希望を伝えられることを目指す。また、ICT業界で高い専門性で活躍する人材育成に向けた社員教育制度の紹介や若手社員との交流を通じて、企業の求める人材と大学に求められる教育についての意見交換を行い大学教育の見直しを図るきっかけづくりとします。
- 3. 研修企業：富士通株式会社
- 4. 開催時期：平成28年3月10日（木）1日間
- 5. 参加者数：25名

## 6. 参加費：無料

### プログラム

#### 10:00 富士通における人材育成への取り組み

富士通の人材育成体系の紹介と、大学で身につけて欲しい基礎知識、能力等について意見交換を行います。

#### 11:10 ICT先進事例の紹介と意見交換

##### (1) ビッグデータ

昨今、企業経営やICT活用のキーワードとなっている”ビッグデータ”の活用動向と取り組み、特に顧客企業でニーズの高いビッグデータ活用の「類型」と具体的な「ソリューション（雛形）」を紹介します。また、今後、活躍が期待される人材と、顧客企業向けの育成プログラムを紹介し、意見交換を行います。

#### 13:00 ICT先進事例の紹介と意見交換

##### (2) IoT

IoTやセンシングなどによって社会・産業構造がどのように変化していくか、ICTによって実現されるヒューマンセントリックな未来像を紹介し、意見交換を行います。

##### (3) AI(人工知能)

今、再び注目を浴びているAI、Deep Learningの動向とそれらが、未来社会にどのようなイノベーションをもたらすのか、「ロボットは東大に入れるか」プロジェクトや大学との共同研究内容等も交えて紹介し、意見交換を行います。

15:00 休憩

#### 15:10 若手社員との意見交換(大学での学びについて)

社会人になってから今までの経験を通じて、大学時代に役立った経験・授業はどのようなことだったか、大学に対して望みたいこと、などについて発表し、意見交換を行います。

#### 16:00 富士通トラステッド・クラウド・スクエア最先端展示内容の紹介

富士通トラステッド・クラウド・スクエアに展示のクラウド、セキュリティ、モバイル、ビッグデータをはじめとする最先端のプロダクトやサービス、テクノロジーをご紹介します。

17:00 終了

## 7. 実施結果

受講者の評価は高く、研修終了後のアンケートでは、本研修を「他の教員にも紹介したい」が90%、「授業に役立つ」が90%であった。

〔主な意見〕

- ① 産学連携によるこのような研修の機会は非常に有益な事業と思うので、今後も是非続けて欲しい。
- ② アカデミックな価値とビジネスでの価値、基礎力とコミュニケーション能力のバランス等について考えさせられ、振り返りの機会となった。
- ③ 大学と企業での人材育成の課題について相互理解が重要であることを強く感じた。
- ④ 今回の研修を受けて、社会の最新の動向を教員自身が理解し教えることの重要性を改めて実感した。また、学びの重要性に気づきを与える授業改善を次年度の行事、授業に取り入れていきたいと思った。
- ⑤ 若手社員による「大学での学び、大学への要望」の声を授業などに反映できるようにしたいと思った。

## 8. 研修会場の様子 (研修・若手社員との意見交換風景)

